



合唱コンクール実行委員長と副委員長にインタビュー

敬称略

榎澤 府中の森芸術劇場の職員の方から、八中生は合唱が素晴らしいだけでなく舞台上の動きも素晴らしい！という感想をいただいています。

鈴木 「八中スローガンの一つ『合唱』が評価されたことはとてもうれしく思います。」

榎澤 「まとめることも大事ですが、自分も意見をしっかりとつとめることの大切さを学びました。」

鈴木 「府中の森芸術劇場の職員の方から、八中生は合唱が素晴らしいだけでなく舞台上の動きも素晴らしい！という感想をいただいています。」

鈴木 「八中スローガンの一つ『合唱』が評価されたことはとてもうれしく思います。」

榎澤 「まとめることも大事ですが、自分も意見をしっかりとつとめることの大切さを学びました。」

鈴木 「府中の森芸術劇場の職員の方から、八中生は合唱が素晴らしいだけでなく舞台上の動きも素晴らしい！という感想をいただいています。」

榎澤 「まとめることも大事ですが、自分も意見をしっかりとつとめることの大切さを学びました。」

鈴木 「府中の森芸術劇場の職員の方から、八中生は合唱が素晴らしいだけでなく舞台上の動きも素晴らしい！という感想をいただいています。」

合唱コンクールの取組をリードしてきた実行委員会の鈴木航委員長と榎澤 拓也副委員長にインタビューしました。

Q 合唱コンクールの締めくくりに『群青』の大合唱は、ものすごく盛り上げて迫力満点でしたね。

鈴木 「全体で歌う機会があまりなかったもので、私もすごい迫力を感じました。生徒の皆さんの合唱コンに向けての頑張りや気持ちの込められたのだと思います。」

榎澤 「最後のコンクールだったので、特に三年生は緊張感をもつつつ、特に盛り上がったのではないかと思います。」

Q リーダーとして困難はありましたか？

榎澤 「一人一人が役割を全うしてくれました。本当に助けられました。一丸となってできたので困難はあまりありませんでした。」

鈴木 「いろんな意見がでてきてまとめ切れなかったことがありました。みんなをまとめることの大変さがわかりました。」

Q リーダーの経験から得たことは何ですか？

鈴木 「これまで、人前に立つことは全然ありませんでした。どんなときでも落ち着いて行動することができるようになりました。」



各学級の楽譜の表紙



八中だより



第12号

令和7年10月10日

府中市立

府中第八中学校

引き続き...

**熱中症に
注意!**

〒182-0035
府中市四谷一丁目二八二七
電話 〇四二(三六四)一八八一

〈在籍生徒数〉 一学年250名、二学年217名、三学年244名
全校生徒数711名
〈学校住所・電話番号〉

★10月の全校朝の会
をいた
だきま
す！
ご感想
をいただ
きまし
てくださ
います！



重要

対話 発見 授業のようす 決定 表現

市民文化の日

活躍する八中生

【敬称略】

★☆☆谷文化センター祭★

吹奏楽部の生徒の皆さんが演奏をして祭を盛り上げました。

★卓球部★

第4回小金井市招待卓球大会

男子団体 第5位 中村 薫 高坂 蒼 中山 和飛
女子団体 準優勝 森川 優人 浅倉 奏佑太 土井 遣士

第10回多摩スポーツ杯

Aリーグ女子団体 準優勝 嶺川 恵実 中 美那 濱田 千晴
Bリーグ女子団体 第3位 大島 心 西野 知紗登 濱田 千晴

潮実花 善元 明花里 高橋 美良
濱崎 華帆 中村 表

☆☆サッカークラブ☆☆

府中市市民大会 優勝

第65回調布市民スポーツ大会

相馬 未来

※学校外のスポーツ活動、文化活動等における生徒の活躍について学校だよりで紹介
しますので、受賞等があった場合は学級担任にご連絡ください。

府中市では10月の第2日曜日を「市民文化の日」とし、市民の方が、気軽に豊かな文化・芸術を体験できるきっかけづくりを行っています。当日は、郷土の森博博物館の入場料・プラネタリウム観覧料、府中市美術館の観覧料等を無料とするほか、市内9か所の施設で文化・芸術に関連した催しを開催します。また、各施設をつなぐキーワードラリーも実施しています。



秋雨(あきさめ)の時季のケガに注意!

秋雨(つゆ)や秋雨の時季には室内でのケガが多くなる傾向があることは周知のとおりです。滑ったり、転んだり、出合頭(であいがしら)にぶつかったりしないように注意しましょう。保健委員のみなさんがポスターで呼びかけを行っています。生徒の皆さんは必ずポスターの内容を確認して、『ケガをしない』という意識をもって生活していきましょう!



「がくちか」と「コンピテンシー」

本日、第三学年では、都立第一商業高等学校の平野篤士校長先生を講師にお招きして、『面接講座』を実施しました。三年生にとって、面接の意義などを学ぶ大変貴重な機会になりました。さて、『がくちか』という言葉は聞いたことはありませんか。『がくちか』とは就職活動をしている大学生が使う言葉だそうです。入社試験で特に重視されているのは『学(がく)生時代に特に力(ちか)を注いだこと』というところで、このことを略したもののなのです。入社試験の面接では、学生時代に力を注いだことを中心に重ねて質問されるのです。四月の全校朝会で話題にした『コンピテンシー』という言葉覚えていますか。これから進路実現に向けての取組の真っ最中にある三年生には、この機会に改めて『コンピテンシー』について確認してほしいとおもいます。大学生が受ける入社試験と同じく高校入試の面接では、『中学校で一番力を注いだのはどんな活動ですか?』『〇〇委員をしていたとのことですが、いちばん成果を残したのはどんなことですか?』など、その人が特に頑張ったことについて質問され、答えたことを掘り下げるように、次から次へと関連した質問が行われます。『コンピテンシー』を重要視した面接では、『ごまかし』は効かないのです。(学校だより2号に詳しく記載してありますのでご覧ください)

《昨年度の都立高校の推薦入試の作文、面接の質問の一部を紹介します》

★作文 (駒場高校保健体育科)

集団において、コミュニケーションは必要であるかどうか、あなたの考えを答えなさい。また、その理由をあなたの経験をもとに具体的に述べなさい。(東久留米総合高校)

これからの社会では、自ら主体的に課題を発見し、解決する能力が必要とされています。本校では、その能力を育成し、課題解決を図る授業をおこなっています。まず、あなたが中学校の「総合的な学習の時間」で取り組んだことを述べなさい。また、その取組をおして学んだことを述べなさい。(日野高校)

〔提示された資料を読み取った上で〕あなたがこれまで当事者意識を持って取り組んできたことと、それを今後の高校生活でどのように生かしていくかを具体的に述べなさい。

★面接 中学で苦労した経験はあるか。その苦労をどのように乗り越え改善したか。(南平高校)

あなたが中学校で一番リーダーシップを発揮したのはどんなときか。(日野高校)

部活動でどのような苦労をしてきたか。(府中東高校)

中学校ではどのような探究活動を行ってきたか。(国分寺高校)

挫折した経験はあるか。(芦花高校)

